



**築 約 80 年の歴史的洋館を仏レストランに再生した
「姫路モノリス 旧逓信省姫路別館」が店舗デザイン賞受賞**
～「第 18 回 BEST STORE OF THE YEAR」優秀賞に～

ウエディングプロデュース・レストラン運営の(株)ノバレーゼ（本社:東京都中央区、浅田剛治社長、マザーズ上場、資本金:5億8千万円）が運営する「姫路モノリス 旧逓信省姫路別館」が、「21世紀対応の店舗」という評価を受け、「第18回 BEST STORE OF THE YEAR*1（主催:（財）店舗システム協会）」の複合商業施設・大型店部門の優秀賞を、2010年3月11日（木）に受賞しました。

「姫路モノリス 旧逓信省姫路別館」は、平日はランチ限定のレストランとして、土日祝日は昼夜各1組限定（1日2組限定）の貸切型婚礼施設として2009年11月にオープンしました。

建物は1930年1月に姫路郵便局電話分室として建造、2002年には姫路市から都市景観重要建築物に指定されており、外観を残しつつ、施設内部をリノベーションしました。

施設内部や敷地内に新築したチャペルには、日本の伝統的な「折り紙」をコンセプトにしたデザインモチーフを取り入れており、重厚なレトロモダンな外観とあいまった前衛的な内装美が特徴です。

設計は、スタイリッシュな空間美に定評のある建築家の垂見和彦氏が担当、照明は国立科学博物館新館を演出した照明デザイナーの武石正宣氏が手掛けました。



上) 重厚なクラシカルな外観
下) 近代的な内装デザイン

「BEST STORE OF THE YEAR」の優秀賞は、和モダンをデザインコンセプトとした近代建築が評価された昨年の「高崎モノリス」に続き、2年連続での受賞となります。

※1 BEST STORE OF THE YEAR … 店舗力の向上を使命に、38年の歴史を誇るJAPAN SHOPショーと共に、第18回目を迎えるコンペティション。主催は財団法人店舗システム協会。

「第18回 BEST STORE OF THE YEAR」は、「21世紀対応の店舗 住・食・衣の新たなる売り場提案」をテーマとして2009年1月～12月に新規・リニューアルオープンした施設を対象に、百貨店・専門店などの「物販店」部門ほか、7部門でエントリーを募集していた。



「姫路モノリス」の特徴

■ 80年前の伝統美と近代的なデザインの融合

ジョージアンスタイル建築のように縦線を強調したクラシカルな雰囲気をもつ景観重要建築物本体を美しく魅せるように配慮し、クラシカルな印象の建築物を、普遍的で落ちついた空間にリノベーションすることで、コンテンポラリーラグジュアリーな雰囲気を創りだしています。



■ 幾何学的なデザインが特徴のモダンなBarラウンジを併設

元々事務所であったスペースを、高級感溢れる Bar カウンターのあるラウンジにしています。モノトーンとベージュを基調にした落ち着いた空間の中、光や壁材の素材感により、視覚的に意外性のあるラウンジとなりました。

■ 立体的なタイルと照明で、宝石箱のように輝くチャペル

中庭に独立型チャペルを新築しました。

天井を除く壁全面に、三角形の「折り紙」をイメージした立体的な白いタイルを施しています。

タイル内に取り付けた照明をつけると光線が拡散し、チャペル全体を宝石箱のような煌きで包みます。



■ 2人の気鋭デザイナーがリノベーション

設計は、国内外においてスタイリッシュな空間美に定評があり、これまでも当社が提案する“都市型ゲストハウス”を手がけた建築家・垂見和彦氏が担当。照明は国立科学博物館新館を演出した照明デザイナー・武石正宣氏が担当、施設の雰囲気が昼夜で異なるライティングを手掛けています。



「旧逓信省姫路電信局」に関して

1930年(昭和5年)1月に姫路郵便局電話分室として建設。関東大震災の教訓を踏まえて“震災復興型局舎”として強固に建設されたため、戦禍を免れました。

建物は2階建て(一部3・4階)延床面積約2,330㎡で、全面をベージュ色のスクラッチタイルで覆い、縦線を強調した2連、3連の窓は多層にわたってデザインされ、人造石の額縁とともに格調が感じられる、贅をつくした窓周りが特徴です。

戦災をうけた市街地に残る貴重な戦前の建築物で、端正な水平垂直直線で構成されるモダニズムデザインは、姫路城に近い官庁街に歴史的な厚みを与えているとし、姫路市から2002年に都市景観重要建築物に指定されました。

2007年3月まで「104」の電話番号案内業務を扱う事務所として使用されていましたが、通信サービスの多様化と高度化もあり、その業務を終え今に至ります。



建築家・垂見和彦 受賞コメント

この度の受賞は、歴史的建築をその地に残し、建物だけでなくその地域をより魅力的に再生させた、スクラップアンドビルドではない今の時代に即した店舗開発が高い評価を得たのだと思います。

中庭に新築した輝きを放つチャペルが象徴するように、この建築には光が溢れています。堅牢で重厚感のある建物の内部には、外観からは想像もできないドラマティックな空間が広がり、訪れる人を驚きと共に迎えます。現代の私たちが求める知的欲求を充足させた、この唯一無二の存在感や文化性の高さも姫路モノリスの評価に繋がったのだと思います。

<プロフィール>



1968年愛知県生まれ。1991年愛知県立芸術大学卒業後、竹中工務店入社。数々の設計、デザインを手がけ、2002年 LADAKH DESIGN ASSOCIATES 設立。その独特な色彩感覚やテクスチャー使い、光の取り入れ方による空間美は、各方面から高い評価を受け、受賞作品も数多く上る。2004年には上海事務所も開設し、そのクリエイションは、日本だけにとどまらない、今、最も注目されているデザイナーの一人。

LADAKH DESIGN ASSOCIATES CO., LTD.

<http://www.ladakh.co.jp>

ノバレーゼの施設設計に関して

当社の施設は、安井秀夫氏、佐藤一郎氏、垂見和彦氏といった気鋭のデザイナーが手掛けています。ブライダル業界では、多店舗の運営において、通り一辺倒な白亜調の婚礼施設を展開することが多い中、“景観に合わせて1施設1デザイン”という方針のもと、全ての施設を異なるデザインで設計しています。

業界では異例の、当社運営物件のみの建築写真集も上梓しています。



全施設が異なるデザイン

ノバレーゼ建築関連の受賞経歴

賞	主催	対象物件	建築家
2004年度 BEST STORE OF THE YEAR 2004 100 選受賞	財団法人店舗システム協会	葵モノリス(愛知県名)	垂見和彦
2006年度照明普及賞 優秀照明北陸支部長賞	社団法人照明学会	アマダンヴィラ (石川県)	垂見和彦
2008年度北米照明学会賞	北米照明学会	北山モノリス(京都府)	安井秀夫
2009年度 BEST STORE OF THE YEAR 優秀賞 受賞	財団法人店舗システム協会	高崎モノリス(群馬県)	垂見和彦
2009年度北米照明学会賞	北米照明学会	高崎モノリス(群馬県)	垂見和彦



会社概要

【社名】株式会社ノバレーゼ[英文社名]NOVARESE, Inc.[証券コード]東証マザーズ(2128)
【住所】〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目8番14号 銀座 YOMIKO ビル 4F
【電話】03-5524-1122(代) 【設立】2000年11月1日
【資本金】586,634千円(2009年12月末現在) 【代表者】代表取締役社長 浅田剛治
【従業員数】732名(パート・アルバイト含む)(2009年12月末日現在)
【売上高】2009年12月期 105億9,622万円
【事業内容】婚礼プロデュース事業、婚礼衣裳事業、ホテル・レストラン事業

事業内容

■ 婚礼衣裳事業

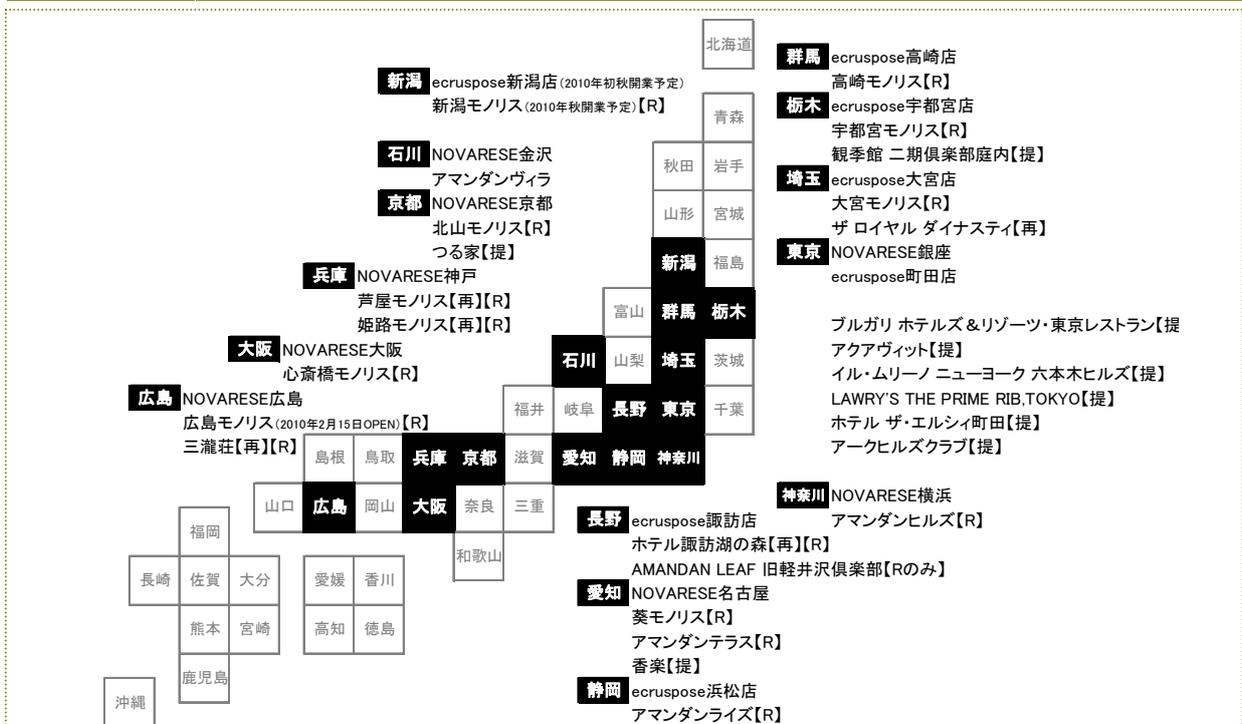
NOVARESE	取扱うドレスをイタリアブランドに特化し、洗練されたデザインの高品質なドレスを多様な品揃えで展開(8店舗)
ecruspose	シンプルで洗練されたデザインを打ち出す「NOVARESE」とは異なり、華やかでキュートなデザインのドレスを展開(6店舗)

■ 婚礼プロデュース事業

モノリスタイプ	都市の中心地や閑静な住宅街など利便性の良い地域を対象に、洗練された都会的イメージと、高級感を演出するシンプルでスタイリッシュな内外装や空間建築を特徴とする施設
アマンダンタイプ	都市郊外で自然の景観に恵まれた地域を対象に、くつろぎと開放感のある高級リゾート感のあるウエディングを演出する、自然を活かした郊外型建築を特徴とする施設
再生物件	歴史的・文化的価値があり利便性の良い高付加価値建造物や、旧来型のホテル・専門式場を当社の開発・運営手法を投入し、蘇らせた施設(下記【再】)
業務提携	レストランや料亭、ホテルとの提携施設で挙式・披露宴やパーティの受託運営(下記【提】)

■ ホテル・レストラン事業

ホテル事業	ホテル諏訪湖の森のホテル運営業務
レストラン事業	挙式・披露宴施設において、披露宴の婚礼飲食や宴会飲食ならびに通常の一般飲食(ランチ・ディナー)を行うレストラン事業を運営(下記【R】)



本件に関するお問い合わせ先

(株)ノバレーゼ 広報担当：野原 TEL: 03-5524-1199 FAX: 03-5524-1133

E-mail: nohara@novarese.co.jp